



公立大学法人

神奈川県立保健福祉大学

Kanagawa University of Human Services

ヘルスイノベーションのための

エフェクチュエーション ワークショップ

新しいビジネス創出のロジックを体感する

第1回

第2回

3/20^① 3/27^① いずれも 18:00~21:00

オンライン開催 (ZoomおよびホワイトボードアプリMiroを使用)

対 象 ヘルスケアおよびライフサイエンス分野の企業関係者
※2日間ともに参加できるのみが対象です。

参 加 要事前申込 (3/19^〆切) <https://forms.gle/zVCRMZV1Uxq438LN6>

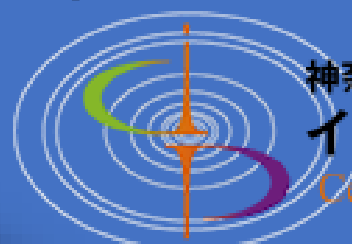
募集人数 30~50名程度 (先着順)



協力

一般社団法人ヘルスケアイノベーション協会
株式会社スケールアウト

主催



神奈川県立保健福祉大学

イノベーション政策研究センター

Center for Innovation Policy

プログラム

近年着目されているデザイン思考に代表されるイノベーション教育の多くは「**原因と結果**」(causation)に基づく仮説検証を基本原理としています。一方で、実際にイノベーションを創出した起業家の意思決定は必ずしもこうした明瞭な「原因と結果」の関係性ばかりではなく、ときに限られた資源や不明瞭な関係性、あるいは偶発性のなかで意思決定を行っていることが知られています。

このワークショップは、こうした**エフェクチュエーション (Effectuation)**の知見をもとに、従来の「原因と結果」型とは異なる形でデザインされた2日間の短期集中型のイノベーション教育プログラムです。ヘルスケア分野やライフサイエンス分野における新規事業の創出プロセスのうちもっとも初期のフェーズを念頭に、現在手元にある限られたアイデアや資源を活用した事業化可能性を探求します。また、参加者の緩やかな動機や野心 (aspiration) を明確化することで、事業化に向けた自己効力感の醸成を目指します。

第1回 3月20日(月) 18:00~21:00

自分の経験や好き嫌いを棚卸ししたうえで、チームで「何ができるか」を考えてみよう
外部を巻き込みながら磨き上げる喜びを体感しよう

- ① イントロダクション
- ② エフェクチュエーション概論：「許容可能な損失」(Affordable Loss)の原則ほか
- ③ グループワーク1：Aspirationと「手中の鳥」(Bird in Hand)の原則
- ④ グループワーク2：Ideation：棚卸しされた道具をチームとして統合して事業機会を探す
- ⑤ 発表
- ⑥ リフレクションとQ&A

第2回 3月27日(月) 18:00~21:00

事業を妨げることが起こってもそれを逆手に取ってステップアップするロジックを体感しよう

- ① ワークショップ1：「クレイジーキルト」(Crazy-Quilt)の原則(ワールドカフェ方式)
- ② ワークショップ2：「レモネード」(Lemonade)の原則
- ③ 発表
- ④ 総括
- ⑤ リフレクションとQ&A

※プログラムの一部が変更になる可能性があります。予めご了承ください。

神奈川県立保健福祉大学
イノベーション政策研究センター事務局

Email: cip@kuhs.ac.jp

WEB: <https://www.kuhs.ac.jp/cip/>

〒210-0821

神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-10

Research Gate Building TONOMACHI 2-A棟 2階 Lab16



公立大学法人

神奈川県立保健福祉大学

Kanagawa University of Human Services



神奈川県立保健福祉大学

イノベーション政策研究センター

Center for Innovation Policy